

# 「同行」

## ～神の計画か人間の選択か？～

シリーズ～神の知恵～

2019/8/25

人生を導く神の知恵

ティモシー・ケラー

～三鷹グリーンチャペル～

後半

＜7月1日～12月31日＞

God's Wisdom for Navigating Life

Timothy Keller

With Kathy Keller

# 「人生を導く神の知恵」

- 時と季節を知る

- 導き・計画・意志決定 8／11～17
- 現代のための洞察 8／18～9／3

# 神の計画

人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する。(19:21)

- **神の計画だけが実現する**

- 「あなたに対する神の目的は揺るぎません。  
…優先するのは神の目的です。」

- **神の計画は最善である**

- 「無限の愛を持ち、完璧な知恵」に基づいて、私たちに益になることを行われる(ロマ8:28)

- **困った時だけ導きを求めるな!**

- 「私たちは物事を決定する時には助けを求めるが、神はすでに私たちを導いておられる」

例：ヤコブの生涯

# 「同行(同流)」"Concurrence"

人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。(16:9)

- **選択の自由**

- 私たちも計画を立て、選択する自由が与えられているし、責任がある

- **実は神の計画の一部である**

- 「私たちが行うすべての事—私たちの歩みの一步一歩—は神の計画の一部なのです」

- **神の計画と人間の選択は「同行」する**

- 「この見かけ上の矛盾は、完全に納得することは不可能ですが、大変役に立ちます」

例：キリストの十字架

# 「どのように」ではなく「誰を」

罪を耕す人は必ず迷う。善を耕す人は慈しみとまことを得る。(14:22)

- 幼稚なやり方

- 「神からの正しい決定を引き出すために、小さなしるしや感触を求めます。しかし、**それは幼稚なやり方です**」

- 御心を見分けるための方法はない！

- 「神の御心を見分けるための方法を探して箴言を調べても見つかりません。」

- 主は正しく歩む者を導かれる

- 「結局、箴言は、神は「**誰を**」導くかについて語っていて、「**どのように**」導くかについて語っていないのです。」

例：ヨセフの生涯

# 「主にゆだねる」とは？

あなたの業を主にゆだねれば／計らうことは固く立つ。(16:3)

- 「計画」ではなく「すべてを」ゆだねる
  - 「あなたの計画を主にゆだねなさい」とは言いません。「あなたのすることはどんなことでも主にゆだねなさい」と言っているのです」
- 困った時や迷った時だけでなく
  - 「人生のあらゆる領域にわたって、主に無条件に従い、信頼することです。そうすれば、あなたはゆっくりではあるけれど、確実に賢い現実的な計画を立てる人になるでしょう」

# 正しく歩むために

勤勉な人はよく計画して利益を得／あわてて事を行うものは欠損をまねく。(21:5)

- **急いで事にし損じる**

- 「箴言のテーマは、衝動的に「あわてて」事を行なうことには避け、将来を見据えて注意深い計画のもと決定していくことです」

- **良い選択のために**

- 「関連する聖書の箇所、家族・教会・国家の中の権威ある人々の意見、自分の良心、動機の吟味、神に仕えるための賜物と能力が發揮されること、そしてあなたの決定が他者に与える影響の評価などです。各要因を吟味し、良い選択をしなさい」

# 結論

- 神の計画か人間の選択か?
  - その両方が「同行」する
- 主の御心を知るには?
  - 特別な方法(魔法)はない!
  - 主の前に正しく歩む者を主は導かれる
- 「主にゆだねる」とは?
  - 困った時だけあきらめることではない!
  - あらゆる領域において、無条件に主に信頼し、従うことである

現代人は、「良い決定のための五段階」といった手引きのテクニックを望みます。しかし神は、生涯を通じてようやく勝ち取ることができる賢明なる人格を与えられます。

長い道のりと多くの経験を通して、私たちは誠実さや公正さを学んでいきます。それらは、私たちを導かれる神の御性質です。私たちは、神、自分自身、人の心、創造の秩序、時や季節といった事を知れば知るほど、物事の良い決定をくださす知恵を得るのです。

# 祈り

「父よ、私の文化的背景は、チャートや短いビデオのような素早い答えを求める。しかし、あなたは答えの自動販売機でも知恵のATMでもありません。そこで、**私はあなたに導かれるタイプの人間になる**ために、長い旅路を選ぶ決心をします。「いかに幸いなことでしょう…心に広い道を見ている人は」[「広い道」は英語訳ではpilgrimage「巡礼」]（詩編84:6）。アーメン。」